

県内経済の動き

概 況

〔2026年6月～2026年8月の動き〕

景気は回復が続くも経済指標はばらつきがみられる

鉱工業生産指数（6月）は2カ月連続で前月比低下、通関輸出額（7月 細島港）は5カ月連続で前年同月比増加した。小売店販売額（7月）は2カ月ぶりに前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（8月）は5カ月ぶりに前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（7月）は4カ月ぶりに前年同月比減少し、公共工事（8月 保証対象請負総額）は2カ月ぶりに前年同月比減少した。有効求人倍率（7月）は前月比+0.01ポイントの1.17倍で、8月の企業倒産は前月比4件減の3件、負債総額は同2億51百万円減の13億58百万円となった。

令和8年熊本地震で本県の観光関連産業は大きな影響を受けた。「九州ふっこう応援割」等を活用した観光需要の回復に期待したい。